

保育園の今後のあり方について

(課題について)

さくら保育園が築39年、ひまわり保育園が築37年、つくし保育園が築30年を経過し、安全に配慮した修繕を行いつつ使用しているものの老朽化している感は否めません。今後児童数が減少傾向にある中、どのような方向性をもって保育環境を整備していくかが問われています。

適時改修等を行って長寿命化しつつ使用していくのか、それぞれの園を建て替える方が良いのか、あるいは、保育園統合も視野に入れて建て替えを検討する方が良いのか、考える時期に来ています。

(検討理由)

特に設備は設置から年数が経過し、修繕の必要が生じたときに部品が入手できないことが増えており、結果として修繕費がかさむ状況となっています。また、近年の気候変動に起因する自然災害等に対する安全面も考慮していかなければなりません。

建て替えを検討する場合、余裕を持って施設内容を検討したり、予算を確保したりするためには、早期に検討を開始することが求められています。

(保育園長寿命化のメリット、デメリット)

○メリット

- ・現状のまま変わらない安心感がある
- ・建て替え費用と比較して安価である

○デメリット

- ・機器や設備の老朽化による不便さ
- ・突発的な修繕が発生する

(保育園建て替えのメリット、デメリット)

○メリット

- ・新しい環境が整い、安心して利用できる
- ・機器や設備の維持管理にかかる費用が少なくなる
- ・自然災害に配慮した建物になる

○デメリット

- ・多額の費用が必要
- ・新園完成までに期間がかかる